

# 平成31年第2回今帰仁村議会臨時会会議録

招 集 年 月 日	平成31年1月28日			
招 集 場 所	今帰仁村議会議場			
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告	開 会	1月28日 午前10時35分		
	閉 会	1月28日 午後2時03分		
出 席（応招）議員	議席番号	氏 名	議席番号	氏 名
	1	島 袋 誠	8	與 那 勝 治
	2	上 原 祐 希	9	山 城 太
	3	與那嶺 透	10	與 儀 常 次
	4	座間味 薫	11	嘉 陽 崇
	5	座間味 邦 昭		
	6	吉 田 清 尊		
	7	玉 城 みちよ		
欠 席（不応招）議員				
会 議 録 署 名 議 員	10	與 儀 常 次	11	嘉 陽 崇
職 務 の た め 議 場 に 出 席 し た も の	事 務 局 長	我那覇 尚 一	書 記	松 田 洋 子
	局 長 補 佐 兼 議 事 係 長	玉 城 民 枝		
地 方 自 治 法 第 121 条 に よ り 説 明 の た め 議 場 に 出 席 し た 者 の 職 氏 名	村 長	喜屋武 治 樹	経 済 課 長	久 田 哲 史
	副 村 長	中 原 茂 仁	住 民 課 長	仲 村 美奈子
	教 育 長	玉 城 奎	福祉保健課長	宮 里 政 有
	総 務 課 長	我那覇 隆 文	会 計 管 理 者	金 城 寛 樹
	企画財政課長	田 港 朝 津	企画財政課補佐 兼 企 画 係 長	嘉 陽 健
	学校教育課長	桃 原 秀 樹		
	社会教育課長	与 那 満		
	建 設 課 長 兼 水 道 課 長	嶺 井 雄 二		

## 平成31年第2回今帰仁村議会臨時会

### 議事日程第1号

平成31年1月28日（月曜日）

1. 開 会 午前10時

2. 付議事件及び順序

日程 番号	議案番号	事 件 名	摘 要
1		会議録署名議員の指名	
2		会期の決定	
3	議案第4号	土地の処分について	説明・質疑 討論・採決
4	議案第5号	平成30年度今帰仁村一般会計第10回補正予算について	説明・質疑 討論・採決

○ 座間味 薫 議長 ただいまの出席議員は11名です。定足数に達しておりますので、直ちに平成31年第2回今帰仁村議会臨時会を開会します。本日の会議を開きます。

(開会時刻 午前10時35分)

日程第1. 「会議録署名議員の指名」を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、10番 與儀常次議員及び11番 嘉陽崇議員を指名します。

日程第2. 「会期の決定の件」を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、1日間としたいと思います。ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「異議なし」と認めます。

したがって会期は、1日間に決定しました。

日程第3. 「議案第4号 土地の処分について」を議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。中原茂仁副村長。

○ 中原茂仁 副村長 おはようございます。それでは議案の説明をさせていただきます。

議案第4号

#### 土地の処分について

村有地の売却に伴い、次のとおり土地を処分することについて、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第1項第8号の規定により議会の議決を求めます。

1 物件の所在地	今帰仁村字与那嶺西長浜原1255番地 他23筆
2 処 分 面 積	村有地31,866.59平方メートル
3 処分予定価格	288,888,000円
4 契約の相手方	今帰仁村字運天881番地 TONYカンパニー合同会社 代表社員 秋吉 洋海

平成31年1月28日提出

今帰仁村長 喜屋武 治 樹

#### 提案理由

当該土地を処分するには、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和47年条例第18号）第3条の規定により、議会の議決を必要とするため、この議案を提出します。

契約書については添付しておりますので、ご参照ください。

○ 座間味 薫 議長 これから質疑を行います。質疑ありませんか。10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 議案第4号 土地の処分についてお聞きします。

全協等でいろいろと説明があったのですが、まだまだ疑念がいっぱいございます。12月から今月、1カ月間でいろいろな絵が出てきました。本当に開発をやるのかどうか、私は疑問に思っています。売買ではなくて賃貸をして、建物が建った後でも売買が可能なのかどうか、お伺いします。本当に絵に描いたとおり、与那嶺にホテルが建設されるのかどうか、私は今疑問に思っています。10年の売買の縛りはあるけれども、本当にそういう施設ができるのか心配でありますので、賃貸でつくらせて売買の契約を結ぶことができるのかどうか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 議案第4号 土地の処分について、10番與儀常次議員の質疑について説明いたします。

本契約について、土地の契約でございますが、建物を建ててから売買をすることができないかという質疑でございますが、今回の村有地、梯梧荘跡地の売り払いにつきましては、以前にプロポーザルで事業を実施しまして、この計画を2回断念しているところであります。今回の土地の処分につきましては、入札形式をとるということで、今帰仁村の公有財産運用委員会の中で取り決めをしまして、専門部会を立ち上げるということで、その中に文化財がありましたので、文化財係もその中に含めて募集を行ったところでございます。その条件の中でホテル事業等を行うことということで義務づけていますので、それでもって土地を売り払いますということが入札にかけて落札したのが現在の状況でございますので、まず、土地の処分としましては、土地を売買して売り渡すのですが、ホテル事業は運営していただくという条件がそこにあります。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 皆さんの説明のとおり、本当に実行してくれたらそれはいいと思いますけれども、私が聞いた話では、SOLAの方が2億8,800万円で落札したから買わないかという、不動産に言葉をかけている状況の中で、本当に高橋ホールディングスが今帰仁の地に建設するのかどうか、未定な部分があるから懸念している状況ですので、こういう担保をどこでとるのか。10年の縛りはあるけど、やろうと思えば売買はできるわけですね。こういう疑念があるから、去年から代表者も計画もころころ変わってくる。本来ならば、そういう計画があれば、最初から立派に説明をしながら契約を結ぶべきだと思いますけれども、今聞いたら、事前説明で変わった状況も聞いていますけれども、何でそうなったのか。金の融通がつかないからいろいろ変わったと書いていますけれども、本当に最初からホテル計画があったなら、もう少し、今までの説明、後出しじゃんけんみたいな方法はなかったと思うんですけど。後ろも聞いていますから、私はあえて言いますが、どうして買わないかということをやったのか。私はこれが一番疑念です。

○ 座間味 薫 議長 中原茂仁副村長。

○ 中原茂仁 副村長 10番與儀常次議員の質疑に対してご説明いたします。

今お話がありましたSOLAの話につきましては、村当局としては聞いておりませんが、我々と

してはTONYカンパニーと契約を結ぶのでありまして、TONYカンパニーとの契約の中では10年間転売禁止ということできちんとうたっておりますので、ホテルを建てないで転売ということはできないと考えております。また、今までの経緯につきましても全員協議会等でご説明をしておりますけれども、業者からは、最初は8億円の事業で来ましたが、高橋ホールディングスとの協定があったことも踏まえて、今回大きな100億円規模の事業で書き直してきていると。本日追加でお配りしておりますけれども、社長からも改めて、きちんこの事業をしっかりやっていきます。という決意表明の文書も含めて、提出されてきておりますので、きちんと事業者として行う意思が確認できているところであります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 執行部は、やる予定で売るわけですが、私たちはまだまだ心配なものがあるから、今聞いていますけれども、本当にこれが絵に描いた餅ではないという保障はないんですよね。今までの経過を見て、これが本当にできるんだったらプラスとして考えますけれども、平成33年7月に開業ということですので、来年から工事が始まらないと間に合わないですね。来年、工事がなされない場合は、これを白紙に戻せるかどうか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 中原茂仁副村長。

○ 中原茂仁 副村長 10番與儀常次議員のご質疑に対して説明いたします。

今回、新たに今帰仁村とTONYカンパニーの間で協定書を結びまして、先ほど、全員協議会の場合もお配りしておりますけれども、既に議会に提出しております事業計画概要書及びコンセプトシートに基づき、ホテル事業を実施することと書いております。この協定書がまさに改めて担保を取った。村として、TONYカンパニーがきちんと事業をするという約束としての協定書ですので、担保は取れているものと考えておりますし、万が一、変更が生じる場合は甲と協議することとなっております。これに関連して、万が一、事業計画に変更が生じた等の場合に、契約がキャンセルできるかということにつきましては、売買した後どうしてもいろいろな、まだ事業計画についてはコンセプトとイメージの段階でありますので、恐らくいろいろな設計の段階等に調整が入ってくると思いますので、そういった変更、予定どおりやらないことをもってキャンセルするというふうに一足飛びに行くのは、なかなか難しいのではないかと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ただいまの10番與儀常次議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 これが本当にできるかどうか、はっきり言って当局もわからないわけですよね。わかる方法でいかないと、我々は去年からいろいろな説明を受けてきましたけれども、業者の信頼度がまだまだ薄いのです。皆さん落札したから、これを建築しないということはないと思いますけれども、まだまだ疑義が多いので質疑をしていますけれども、本当につくるという担保がどこにあるのか。

○ 座間味 薫 議長 中原茂仁副村長。

○ 中原茂仁 副村長 10番與儀常次議員のご質疑に対して説明いたします。

今帰仁村としまして、今回新たに協定書を結びまして、今帰仁村とTONYカンパニーとの間で、この事業についてきちんとやりますという協定を結んでおりますので、万が一、予定どおり進んでいないと

いうことになれば、これは約束でありますので、これに基づいてきちんと行政指導等を行って、きちんと進めてくださいということを強く申し入れていくことになろうかと思います。以上です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時51分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時51分)

ほかに質疑ありませんか。2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 議案第4号 土地の処分について質疑いたします。

この議案は、去年の11月19日の臨時会で上程されまして、会期延長の末、12月3日に1人退席、9人否決という結果で一度否決されたものを、今回上程ということで理解はしているのですが、12月3日に1人退席の後、9人が否決したときの、議会が抱えている疑念を、村当局はしっかりと説明責任を果たして、疑念を晴らしていかないといけないというところは、強くあると思っております。12月3日の議会の一般質問の中でもさせていただいてはいますけれども、まず、入札参加資格は本来、地方自治法上定めなくてもいいものを、村としてしっかりと定めてホテル事業をやるものという形でやりました。ですが、今回入札の権利を得ているTONYカンパニーは、当初、定款にホテル事業を載せていなかったというところの入り口の問題の疑念が一つ残っています。村当局としても、定款の問題は契約後でも、すぐ定款に載せることができるので入れましたということで理解はしているのですが、簡単に定款に入れられる、最初の初歩的な部分は、本来であれば最初で超えるべき最低限のハードルだろうという見方もできます。そういう疑念を抱いているところが一つと、あと登記簿の問題ですけれども、この会社は新聞にも載っていましたが、梯梧荘でホテル事業をやるためにつくった会社であります。まさに定款の問題も新聞に載っていましたが、初歩的なミスです。というところは、やはり疑問に思いました。ホテル事業をするためにつくった会社であるのならば、定款というのは、会社としての方針、規則でありますので、ホテル事業をやりますというのは大前提で、本当は入ってくるべきではないかという疑念が一つあったのと、19日の議会のときに、このままでは議決できないので会期延長を申し入れました。そのころには、この登記簿は取れなかったんですね。変更中、手続中で取れなかったのですが、12月3日の時点では、12月29日には村当局の手元にも届きましたということで30日に説明がありました。これを確認しますと、本来、最初に入札をした宇良代表は11月15日時点で退社しておりまして、執行役員も数名入っている中で、11月15日付で今の代表が就任しております。この説明を29日、30日の全協の中で受けたときも、村当局として、29日までに登記簿をもらった分までは一切知らなくてびっくりしましたという、全協での説明がありました。それを受けて、やはりさらに疑念が生まれたところは、否決に至った大きい要因の一つとも言えると思います。今帰仁村の契約規則の中にも、第3条の中で「村長は、契約を締結するときは次に掲げる事項を遵守し、村にとって不利益な契約を締結しないようにしなければならない」という中で、「契約者の信用状態を的確に把握すること」というものがあります。代表者なり、この会社の形態が大きく変わる中で、事前に村と協議することなく、この代表者も含めて、正直この会社が丸ごと変わっている形にはなりませんけれども、それは村も把握していなかったという中で、契約者の信用状態を的確に把握していることに当たるのですか。信用に当たる企業なのですかというところでの疑念もあります。その辺、今回また上程するに当たりまして、その辺の疑念をしっかりと議員が納得する形で説明をもらいたいと思っています。

○ 座間味 薫 議長 中原茂仁副村長。

○ 中原茂仁 副村長 2番上原祐希議員の質疑に対して説明いたします。

以前の議会でもありました、定款にホテル事業がそもそも入っていなかったということについては、事業者側からの説明では、これをつくるときによくないものを手本にしてしまったといえますか、観光について書いていないものを手本にして、まずは急いで提出してしまったので、観光が抜けていたという説明がありましたので、それについては事業者側からも本来あるべき、当然観光事業をやるためのものでありましたので、直すということで迅速に修正をして登記はもう既に直っている状況にあります。また、代表が変わっていたことにつきましては、11月29日の時点で我々としては聞いてはいなかったのでありますけれども、事業者側としては、その前から変わる予定ですよという説明はありましたので、それは「変わる予定です」なのか、「変えるために手続中でした」なのか、どっちがどう言ったかというところがありますので、事業者側として、少なくとも村に対して全く連絡していなかったということではないというような状況であります。その後も、現在に至るまで、事業者としては前回の否決も受けて、事業者としては本気でちゃんとやりたい事業なので、もう1回チャレンジしたいという話もあり、事業計画書もいろいろ見直しをしてきていますし、資本金についても、本当に8万8,800円でやる気があるのかみたいな話が出たというのを聞きつけて、5,000万円まで上げてきたり、重ねて何回も事業の説明をしに来たり、指摘があったことについて、最初からやるべきではないかというご指摘もあるかもしれませんが、指摘があったらきちんと直して、少しずつ改善してきていると考えておりますので、村当局として、信用に当たる企業なのかというところについては、事業者としては、信頼、信用を得るべくいろいろと努力してくれているのではないかと感じております。

○ 座間味 薫 議長 2番上原祐希議員。

○ 2番 上原祐希 議員 もちろん地元の与那嶺区もそうですし、村当局、また村議会も、この梯梧荘の土地は、約10年近くホテルを建設しようと一生懸命取り組んできた結果、まだ手つかずの状態で、早く事業に着手してもらって、そういうすばらしい施設ができてほしいという思いは一緒だと思っております。その中でこういうすばらしい計画もあるのですが、やはりこれまでの蓄積といいますか、その辺を払拭するまでに至らず、前回は否決したということでもありますけれども、私たち行政を含め、法律であったり、条例であったり、規則であったりという中で、しっかりと決まったルールの中で仕事を進めていかなければいけない中で、この部分をしっかりと納得して採決したいという思いは重々ありますけれども、やはりこの協定書についても、同僚議員からもありましたけれども、今回の協定書がきょう結ばれております。

「第3条 乙は前条のホテル事業を平成33年7月を目標に開始すること」とありますけれども、この協定書がどれだけ効力を発揮するのかということも気になる場所だと思っております。これは、先ほど同僚議員からもありましたけれども「平成33年7月を目標に開始すること」の部分で、大幅におくれる可能性もゼロではない中で、5年なのか、どのスパンをもつかわからないですけれども、その辺がおくれることに対して、実際に売買されて土地は村から離れた中で、村当局がどれだけ行政指導力を持つのかということをお聞きしたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 中原茂仁副村長。

○ 中原茂仁 副村長 2番上原祐希議員の質疑に対してご説明いたします。

先ほどと重なりますけれども、今回、協定書を新たに結びまして、今帰仁村とTONYカンパニーとの間で、ホテル事業をきちんと行って、第3条のところに「平成33年7月を目標に開始する」としておりますので、当然、今回可決していただけることになれば、それを受けてTPNYカンパニーもホテル事業に着手していくと思います。そこは、その後も引き続き連絡を密にとりながら、状況を聞きながらやっていく、予定どおり、協定書のとおりやっていただけたらと思っておりますけれども、万が一、事情があつてなかなか進まないということが、今帰仁村として把握できれば、平成33年7月を目標にということなので、1年たっても何も動きがないということになれば、それはどうなっているんですかともちろん言いに行きますし、それは進めてもらえるように指導していくことになります。協定書は両者できちんと交わした上で、印鑑までついてやっているものですので、それはお互いに拘束されるものだと思いますので、それに基づいてきちんと、万が一、事業が進まないようなことがあれば、村当局としてきちんと指導していくことになります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 質疑いたします。

まず、協定書のほうからですけれども、先ほど全協の中でも質疑がありました。第2条の後半「これらに変更が生じる場合には甲と協議すること」、実際、事業計画、コンセプトシートのとおり、もちろん事業をやっていく予定ではあるはずなのですが、変更が生じた場合、村と協議をしてやっていくということなのですが、今、100億円規模の事業であると。先ほど全協の中でも質疑が出ましたが、50億円、極端な話もっと低くなった場合、どのような対応をとっていくのか、伺いたいと思います。と言いますのは、この協定書自体、本当に効力を発揮できるものなのか。前回の覚書、社長が変わっているのに前の社長の名前で覚書を結んでいたということもありまして、やはりここも私たちの疑念がいまだに強く残っているんです。それも踏まえて村当局の見解を伺いたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 中原茂仁副村長。

○ 中原茂仁 副村長 3番與那嶺 透議員の質疑に対してご説明いたします。

第2条に「事業に変更が生じる場合は甲と協議すること」とあります。今後、その事業の計画の提案があったときにどうするかということでもありますけれども、現在は、業者から今回この事業でしっかりやりますという説明を受けているところでありまして、仮定の話をするのは控えたほうが良いと考えております。ただ、提案があれば甲と協議するということで、しっかり今帰仁村として、もし万が一、変更の話が来たら、それはよく聞いて、その後どのように対応するかは、そのときにケース・バイ・ケースで対応ということになると考えております。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 ということは、認める方向にもなり得ると。また逆にこの契約自体なくなるという解釈でよろしいでしょうか。伺います。

○ 座間味 薫 議長 中原茂仁副村長。

○ 中原茂仁 副村長 3番與那嶺 透議員の質疑に対してご説明いたします。



もちろん、全くそのまま契約どおりの、現在、事業計画概要、コンセプトシートが出ているとおりの、完全に1mmも動かさないようなものでなければ認められないということではありませので、妥当な変更だと認められれば、村としても了解しましたということになることはあり得ると考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 了解しましたということで認める場合もあると。そのとき、認める前に我々議会もそうですが、地元住民に説明等があるのか。もし大幅な変更になった場合、このコンセプトシートは何だったんだという話にもなりかねませんので、その辺の説明でどのようにやっていくのか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 中原茂仁副村長。

○ 中原茂仁 副村長 3番與那嶺 透議員の質疑に対してご説明いたします。

変更が生じた場合に地元の方への説明ですとか、議会への説明については、どのぐらいの変更になるかにもよりますけれども、必要に応じてきちんと地元の方へのご説明、業者のほうからきちんとした説明会等、どちらにしても変更しなくても、そもそも説明会等をきちんとしてもらう必要があると思いますけれども、そういった地元への説明等、理解を得ながら進めていくことになります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ただいまの3番與那嶺 透議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 仮定の話ではありますが、もし、この説明会等で理解が得られなかった場合、もちろん仮の話なので答えにくいところはあるかもしれませんが、そのあたりどうなのか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 中原茂仁副村長。

○ 中原茂仁 副村長 3番與那嶺 透議員の質疑に対してご説明いたします。

当然、地元の方々の理解を得ながら進めていくことになるので、理解を得られるようにきちんと説明していくことですが、または事業者側からも、きょう追加でお配りした資料にもありましており、今帰仁村のためにしっかりやっていきたいということでもありますので、もし地元の方から大きな反対があるようであれば、それも踏まえて、事業者のほうもどういうふうにするか真摯に受けとめて考えてくれるものと理解しております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 議案第4号 土地の処分についてお伺いいたします。

今回、この土地の処分に関して、去年の12月からいろいろと議会の中でも否決があつて再提案という流れになっておりますが、実際、12月当初、否決という流れの中で、この土地が一般競争入札の中で行われたと。ただ、そこでホテル事業をやるというものがつけられた中で、当初の流れとしては8億円ぐらいの投資の中で、実は本当にホテル事業が行われるのかどうかというところに疑問があつた部分があり、当初はカプセルホテルみたいな形なのか、何なのかがわからないような展開であつたり、覚書の中の代表者が違つていたというところの中で議会の中でいろいろと疑念がありました。今回提案するに当たって、その

中の一つとして明確なコンセプトシートということで、事業規模が急に100億円になったと。でもそれはそれで、この事業が進むに当たって、確かに村民の中でもあの土地が今帰仁村の発展のための起爆剤になってほしい、そして雇用の創出、いろいろな面で期待されている事業であるということで、今回、議会の中でもすごくいろいろな意見がありました。今回、全協でも話をさせていただいたのですが、土地の契約の中で大いに疑義が出たと。その中で、それを補足する意味でも協定書を結んで、明確にこの事業を行うと。そして約束した100億円規模の事業展開をして、日付まで打ってやってきたと。そういう意味では、今回の入札に当たっての流れとしては、この事業を明確にしたというところではいいのかなという中で、いろいろと議員が聞いていますけれども、ぜひこれをスムーズに進捗していきたいというところで、村として、もしこれが議会で通った場合に、TONYカンパニーとの中で積極的に事業が進められるように絡んでいくのか、再度答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 5番座間味邦昭議員の質疑にお答えいたします。

今回提案いたしております議案第4号 土地の処分については、地方自治法の規定に基づき、今帰仁村の契約及び財産の処分に関する条例の第3条、金額にして700万円以上、そして面積にして5,000㎡以上の土地の処分については、議会の議決が必要だということで提案しております。12月3日に否決されましたけれども、その後、TONYカンパニーを含めて村のほうから、この事業を具体的にやるために、本当にどういう資金計画、それからどういう企業がバックアップしていくのかということで、ずっと情報交換をしてきましたけれども、今回、幸い、大手の高橋ホールディングスが一緒に事業をするということで、非常に心強く思っております。そして村としては、提案する村長として、この土地の建物の売買契約書、それから村とTONYカンパニーの交わした協定書、そしてTONYカンパニーと高橋ホールディングスの交わした協定書については、これは責任ある立場の方が協定しているわけですから、ぜひこの協定に沿って、この事業を一日も早く進めて、村民の雇用の拡大、今帰仁の観光の発展、そして財産の有効活用を含めて、今帰仁村の発展につながるような事業にしたいと村長としても考えておりますので、議会の承認がいただければ、早速TONYカンパニーの代表、そしてまた高橋ホールディングスの責任者にも直接お会いして、この事業が計画どおりにできるよう、村長としても最大限努力をして、村民の期待に応えられるような計画にしていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 今回協定書を結び、そしてコンセプトを示して、明確にホテル事業をするということをうたわれています。これまで、この土地に関しましては、屋部土建、オリオンビールが計画を出してきましたけれども、実現に至らなかった。今回、土地を売買するに当たって、入札で落とされ、そして議会の議決になれば本契約になると思うのですが、結果を見てみないことには何とも言えないのですが、明確に示されていると。ここで明確に示して、コンセプトも示した中で、きょう傍聴にも来ているみたいですが、議会の思いというのは十分聞いていると思います。私どもとしまして、この計画がある意味、もし議会で通ったときには、事業者の責任でもって進めていく。やはりこの疑念を晴らすためには、業者も疑いを持たれないように、明確に、また言いわけなく進めていただきたい。そういう意

味も含めて期待しているところではありますけれども、今回、村としては、この協定書をもとに事業を進めていただくということで、ぜひ当局は、議会がそういう意思でたくさん疑問を持ちながらもどうすべきかとすごく悩んでおります。そういう意味で、議会で通ったときには、各議員の思いとかその辺は強く伝えていくつもりなのか。この辺をお伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 5番座間味邦昭議員の質疑にお答えいたします。

議会で承認されて契約が成立したときの提案者として、責任者の思いとして、これは前回否決されたので、その後いろいろTONYカンパニーとも協議し、そしてきょうを含めて議会の全協での2回の説明、そしてまた全協で出された事業計画等に対する疑問についても、誠意回答してもらって、きょう回答したとおりであります。先ほど答弁しましたように、議会、そして村民の中にもこの事業に対するいろいろな疑問とかがあるということは承知いたしておりますので、契約が成立しましたら、村長としても、先ほど答弁しましたようにTONYカンパニー、そして事業をバックアップしてもらいます高橋ホールディングスに、この契約書、そして村とTONYカンパニーの協定、そしてTONYカンパニーと高橋ホールディングスの協定については、村民の期待に応えられるようなすばらしい事業をしていただきたいということで、村長としても最大限行動して、村民の期待に応えていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 村長から力強い答弁をいただきました。

まさしく今、この事業がうまくいくかいかないか、この計画が予定どおりいくかいかないかは、ある意味事業者の思いの強さにかかっていると思います。それをやるためにも、当局が積極的に後押しする必要性が十分あるなという中で、今回、8億円当初の計画が100億円になったと。いざ契約をしたらまた戻るとかそういうことがないように、私が見る限り、事業というのは約束どおり100%、1mmの狂いもなくやるかという、それは確かに多少の増減があるかもしれない。でも許される範囲というのがございます。その辺当局も、実際やったら10億円だったとか、これは許される金額の差ではないと思います。やはりこの計画をもとに、今回議会がどう判断するかが問われているので、やはりこれが基本になっています。そういう意味でも、当局は、この計画が基本になっているということに間違いはないか、もう一度お伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 5番座間味邦昭議員の質疑にお答えいたします。

100億円規模の事業ということですが、100億円ぴったりにいくかというのは、これから議会が議決を承認した後に、先ほど副村長からも答弁がありましたように、基本設計、実施設計、さらに詳しい事業計画をやっていくと思いますので、その中で多少の変更はあるかもしれませんが、必ずしも100億円ではないかもしれませんので、そこら辺は協定書に書いてあるとおり、真摯に協議しながら、できるだけ提案された100億円規模の事業を、ぜひこの旧梯梧荘跡地でやって、村民の期待に応えられ、そしてまた議会でもいろいろ疑問等を出されましたので、それも払拭できるような事業計画をしていただきたいということで、村長としても最大の努力をしていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時22分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時22分)

喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 これは売買契約書、それから村とTONYカンパニーとの協定、それからTONYカンパニーと、事業をバックアップしていただく高橋ホールディングス、そういったのを提案者の村長、それから会社を代表する社長の法的立場、責任のある代表者でありますので、基本は100億円ですが、先ほど申し上げましたように事業計画の中で多少の設計の変更等はあるかもしれませんが、最大、計画を基本として、基本どおりできるように、村としても協力すべきところは協力しながら、地域の理解も得ながら、ぜひこの契約書、協定に基づいて、10年余り、跡利用がなかなか有効活用されずに、村の財産の有効活用、そしてまたその他の村の事業とも関連いたしますので、ぜひこの計画に沿ってやっていただきたいということで企業にも申し入れ、村長としても力を尽くしていくということであります。

○ 座間味 薫 議長 ただいまの5番座間味邦昭議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 村長からの力強い答弁と、またこれを基本に進めていくと。確かに事業というのは思いどおりにいかない部分があるかもしれない。ただ今回、議会の議決が必要な中では、やはり出された内容が基本になっています。そういう意味でも、きょうは地域の方も傍聴に来ています。また議会の中でも、今回の基本の中で今後進められていくというところで理解をいたしました。やはりこの土地が、今帰仁村民にとって、村の発展のために必要であるというのは、みんなが共通している認識であります。ホテルというのは雇用も生みますし、いろいろな意味で、農業の1次産業から、いろいろな意味でいろいろな産業へ効果が広がっていくということに、全議員、地域住民も思いは一つだと思います。それが計画どおり、今後、村民や議会、行政に対しても疑義がないように、業者には進めていただきたいと思いますし、今回、この計画が基本であるということは揺るぎないものなので、それは当事者も含めて取りかかっていただきたいと思います。と思っています。

最後の質疑なので、改めて当局から見解を伺いたいのですが、この計画が計画どおり、最大限この計画に基づいて実行されるように、当局としてももう一度その思いを強く述べていただきたい。答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 5番座間味邦昭議員の質疑にお答えいたします。

先ほど答弁したとおりですが、今回の議案については、議会のみならず、村民、そしてまた先にマスコミ等でも報道されまして、かなり注目されている議案でありますので、先ほど答弁したとおり、この事業、契約相手のTONYカンパニー、そして高橋ホールディングスも含めて、この議会で議決されましたら、村長としても早速行動して、この事業に一日も早く着手して、村の観光発展、そして村の産業発展、雇用の拡大、今帰仁村の発展につなげられるように、ぜひモデル的な事業として成功できるように、村長としても最大限努力をしていく決意であります。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。8番與那勝治議員。

○ 8 番 與那勝治 議員 議案第 4 号 土地の処分について質疑いたします。

各同僚議員からもいろいろと質疑があり、おおむね理解はしておりますけれども、すばらしい提案はいただきました。しかし、この議案に対して私が疑念を持っている点について、まず、今帰仁村民、特に梯梧荘跡地については、物すごく興味、関心が高い物でありますけれども、プロポーザル方式から一般競争入札へと大きく方向転換されたわけでありまして、売却の方法で方向転換したにもかかわらず、我々議員が誰も知らない。そのやり方について、なぜそうなったのか説明を求めたいと思います。

そして、一般競争入札という売却方式をとった上、今度はまた一般競争入札の公告を行って、これもまた我々の知らないところで、ホームページ上に載って、一般競争入札の参加者を募っていたと。なぜこういう方法をとったのか。我々は誰も知らない中、村民もほぼ知らない状態で、梯梧荘跡地がネット上で競争入札の参加者を募っていたというところ。

それともう一つ、今回の入札ですけれども、参加資格を定めた入札であるにもかかわらず、競争入札参加資格審査委員会に諮ることなく、また、定款にホテル事業が記載されていない事業者に対して入札参加資格を与えたこの理由、説明を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 8 番與那勝治議員の質疑について説明いたします。

まず、入札方式になった経緯でございますが、先ほどの説明の中でもあったかと思いますが、以前のプロポーザル方式での事業計画を 2 回断念している経緯がございます。そのことを受けまして、最終的にオリオンビールの事業計画が断念されたところで、公有財産委員会の中でも検討いたしまして、次に同じような形式でプロポーザル、事業計画を待って、次の跡利用を考えるとまた数年かかってしまうということで、梯梧荘の購入から約 8 年もかかっておりますので、それは事業計画の実効性が見込まれるであろうということで、入札方式に転換したところであります。また、梯梧荘の跡利用の事業を進展する中で、文化財の調査費の件が一番企業としての事業実施を変えられなかったという状況もございましたので、公有財産委員会の中で専門部会を設けて、文化財係を専門部会の委員に入れて跡利用の計画を進めたところであります。その中で、新たなホテル事業に参入する会社も拒まないということで、この入札方式の中で事業計画を足していただくということを条件につけておりますので、新規参入が入札に応じた中では、これまで定款等にうたわれていなかった 2 者もございましたが、入札を受けている状況でございます。それと参加資格の件でございますが、それも含めて専門部会で新たに参入できる形と、全協の中で説明をしましたが、会社の定款等につきましてはすぐに変更が可能である状況も踏まえまして、入札におきましては、金額と事業計画を提出できるということと、新規参入のホテル事業を行うという意思を確認した中で入札を受け付けて実施したところでございます。

○ 座間味 薫 議長 中原茂仁副村長。

○ 中原茂仁 副村長 8 番與那勝治議員の質疑に対して追加でご説明いたします。

なぜ事前に議会への説明がなかったのかという点でございますけれども、確かに土地の売買については、6 月の議会だったか、記憶が定かではないですけれども、きちんと村としての方針を決めて、事前に議会に説明するといったことを答弁していたかと思います。実際、ありとあらゆる土地の売買等を、村当局か

ら事前に議会に説明するとなると、それもまた村当局と議会の権限がどこからどこまでなのかという問題の調整もあると思いますので、その何をどこまできちんと事前にご説明して、ここから先は役場に任せさせていただきますという基準をきちんとまとめなければいけないと考えておりまして、それがまだ間に合っていない状況下でありましたので、今回の梯梧荘の案件については、事前に説明をするという判断にまでは至らなかったというところであります。こういった案件については、当然額も大きいですので、今後は説明するという事になるかと思っております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 今の説明の中で、専門部会の中で新規参入も認めるというようなこともあったのですが、新規参入を認めるというのは、専門部会が認めたのですか。申込書を見てもどこにもうたわれていないですよ、新規参入を認めるとか。これはどこでどう認められたのか。それから、今回入札が終わって、事業計画もどんどん変わってきている中でありますけれども、この事業計画を見て、もし我々がこれはいいねと判断するのであれば、これはまさしくプロポーザル方式ではないかと思うんですけども、だったら一般競争入札ではなく、プロポーザル方式でそのままいったほうがよかったかと思っておりますけれども、その辺の説明を求めます。

定款にホテル事業が記載されていない、これは余り問題視していないのですが、会社の事業目的の意味、そして定款に事業目的を記載することが義務づけられていて、事業目的は、会社が営む事業を明確にするものとあります。明確にするものとあるのに、ホテル事業がない。ホテル事業をしないと明確にうたわれているというふうにも捉えられるのですが、後から変更を認めるというのはおかしい話ではないかと思えます。参加資格、期間が定められています。指導するのであれば、この期間内に修正してくださいというのが筋だと思うのですが、この説明を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質疑について説明いたします。

まず、入札の条件でございますが、今回の入札の案内の中で資格等を例規して周知しているところがあります。その中で、ホテル事業を行うこととしておりまして、その事業計画を出すことを義務づけているところがあります。公有財産委員会を踏まえて、専門部会の中で新規参入を認めるということにしておりまして、その審議の中でも新規事業者を認めるところと、定款にない場合はどのようにするのかということも話し合われておりまして、その中で、定款については新規、他事業からこのホテル事業を営む場合は、定款を書きかえることが可能であるということの確認をしまして、入札の時点におきましては、定款に書かれているかいないかを重要視していなかったという状況もございます。ただ、ホテル事業を行うことを最初に条件づけておりますので、それに基づいて、またこれまで聞いている中では、ホテル事業を行う場合には、事前に条件整備をされる会社が法的クリアを行って、実際にグループ企業であったり、そういう共同企業であったりの事業者が、実際には開設をして運営していくというのが通常の流れだとも聞いておりましたが、それは特段難しいことではないかと考えております。また、その内容についても、今回、TONYカンパニーとの入札が行われた後に定款がないということも踏まえて、TONYカンパニーでは定款を書きかえることを、こちらから伝えて対応していただいたという状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時39分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時40分)

田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 説明漏れがございました。

入札方式とプロポーザル方式でございましたが、さきにも説明しておりますけれども、プロポーザル方式にしますと、企業のほうで前もってホテル事業の計画をつくる期間が必要になってきます。それに基づいて事業計画を審査するという手順になって、また、ある程度の期間が必要になってきます。これまで2回のプロポーザルもやって、事業を調整してきましたが、それができなくなったということを踏まえて、まず、梯梧荘跡地を使ってホテル事業を行うのであれば入札しますという方針の転換になっておりますので、まずは、入札の入り口では事業概要をある程度ホテル事業ということで絞っていますので、実際にはこれから測量であったり、設計であったり、進めていくわけでありますが、その中でホテル事業を目的としている事業展開を行う約束を、入札の中で条件づけておりますので、今回の入札というのは速やかにホテル事業に移行しやすくなるのが入札方式だと考えております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 事業を早目に進めたいから入札方式にしたということでもありますけれども、我々の今回の判断材料の中には、やはり事業計画を見てくださいというところもあると思います。そうしたら私はプロポーザル方式でいいと思っています。そのほうがいい計画もできるし、村のためにもなると思っています。安易に、早く売りたいからとかそういうふうに見えてしょうがないのですが、我々に相談もない中で一般競争入札にして売却方針を変更して、そしてホームページ上に上げて公告を行ったと。この辺の疑義は解消されないわけです。入り口のところで相当不平等があると思っています。新規参入を認めるとわかるのはどのぐらいいますか。公募の中には新規参入を認めると書いていないんですよ。公募をかけるときからしっかりそれを認めて、文言に落とし込んでやれば、入り口でも不平等は一切起きていないと。皆さん方も自信を持って言えるし、そして落札してくれた方々にも、応札してくれた方にも誠意があると思うのですが、これでは、やはり到底私の疑義が払拭されるまではいかないです。定款を余り重要視していないように思うのですが、先ほどから定款の件も、これは会社の方針です。事業内容、何をやる、こういう会社だと。またTONYカンパニーは、今回の梯梧荘跡地でホテル事業をしようと思って立ち上げた会社であるにもかかわらず、ホテル事業が入っていないこと自体おかしいと思います。これは十分判断材料になると思いますけれども、これの説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質疑について説明いたします。

まず、入札の案内については、村のホームページとか村の広報紙に掲載して周知を図ったところです。それと観光協会のホームページにも協力をいただいて、入札案内のリンクお願いしたところであります。その入札の条件の中でのホテル事業でございますが「ホテル事業を計画し」という条件も、入札案内の中で明確になっています。実際に、その案内を確認した企業から問い合わせがあつて、新規事業を行う場合、定款にない場合はどうなるのかという問い合わせもあつて、そのときは事業計画を出していただければよ

ろしいですよということで、入札を認めているところであります。実際に入札に応じた会社としても、TONYカンパニー以外にも定款にはまだ載せていないということもありましたが、事業計画、ホテル事業の計画書をつくっていただいて、入札の受け付けをしている状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 ただいまの8番與那勝治議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 当局と副村長の答弁からもありましたけれども、当局とTONYカンパニーと協議した上で、定款の変更とか、事業計画も上方修正されてきて、いい計画はできてきていると思います。しかし、申し込み期間というのがあって、期間を過ぎて変わってくるとやはり条件が変わるし、不平等であるとは思っています。残念なのが、この期間を過ぎて、登記もでき上がってきているし、代表者もどんどん変わってきています。提携する会社も後から見えてきました。これが最初の段階で見えて、これが期間内にこの状態だったら非の打ち所がないのです。この辺、本当に非常に残念に思うんですけども、梯梧荘跡地でホテル事業をしたいという気持ちもあります。早く売却したいという気持ちも、わからないでもないのですが、有効活用するために時間をかけてもいいとは思っています。その観点からも、これは白紙に戻して、もう一度、プロポーザルなり何なりするべきだと私は思っています。この辺の見解を村長から伺いたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 8番與那勝治議員の質疑にお答えいたします。

いろいろ指摘されて、白紙に戻してということですが、これはできないと考えています。売買契約書は既に交わして、そして2億8,888万8,000万円の内金、保証金として2,888万8,000円が村に納付されております。提案したこの契約書には、提案した私としては、瑕疵はないものと理解しておりますので、議会の議決をもってこの契約は成立するというふうになっておりますので、白紙に戻すということは、村長として考えていません。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 議案第4号 土地の処分について質疑いたします。

きょう、全協でもらいました協定書について質疑をします。「第4条 乙は、第2条のホテル事業の実施に当たり、今帰仁村の自然や景観に十分配慮した建設及び運営を行うとともに、地元与那嶺区を初め、周辺住民への事業説明等も丁寧に行い、また、周辺住民の生活の平穏を乱さないようにすること」とあります。「周辺住民の生活の平穏を乱さないようにすること」ですが、当局は平穏を乱さないようにすることをどのように捉えているのか、答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 中原茂仁副村長。

○ 中原茂仁 副村長 11番嘉陽 崇議員の質疑に対してご説明いたします。

こちらの協定書の第4条にある「周辺住民の生活の平穏を乱さないようにすること」というのは、当然、営業に当たって周辺の皆さんに対する迷惑、騒音ですとか、排水ですとか、その他で迷惑をかけないようにすることもそうですし、与那嶺区の皆さんからもさまざまな要望等があると思いますので、与那嶺区の皆さんときちんと話し合っ、ある意味協定書ですね、今帰仁村とTONYカンパニーが結んだように、



与那嶺区とTONYカンパニーとの間で、住民の皆さんとの協定書などを結んでいただくなどしながら、きちんと住民の皆さんの理解を得ながら事業を進めていく、そういうことが含まれていると理解しております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 ただいま当局の説明で、地域住民と事業者で協定書を結んだりということがありますが、きちんと文言に残して、地域住民、与那嶺区からも理解を得られるように、そのような形で協定書を交わす必要があると私も考えております。与那嶺区と業者に任せるのではなく、今帰仁村も文言のチェック、助言等も行い、お互い疑義が生じた場合は、当局にも協力してもらい、問題解決に努める必要があると考えますが、このことについて答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 中原茂仁副村長。

○ 中原茂仁 副村長 11番嘉陽 崇議員の質疑に対してご説明いたします。

村としても、業者と住民の皆さんとの間だけに任せるのではなくて、必要に応じてきちんと中に入って仲介をしたり、内容を確認して助言するなどをきちんとしていきます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。1番島袋 誠議員。

○ 1番 島袋 誠 議員 議案第4号について質疑いたします。

先ほどから同僚議員からもあるとおり、まず、11月19日に1回目がありまして、延会となりまして12月3日に全会一致の否決ということになりました。その後の経緯として、村当局とTONYカンパニーとのやりとりがいろいろあって、今回の再提案ということであると思いますが、1回目に入札を行った際に、1回目はゼロだったと認識しております。2回目に5者あって、入札の結果、最上位のTONYカンパニーが2億8,888万8,000円ということで現在に至っているという経緯は認識しております。その際、先ほど8番與那議員からもありましたとおり、ホームページ上での変更で、これまでプロポーザル方式で2者、実現に至らなかったということもあってのことで、今回の入札になったということですが、1回目と2回目で何か文言に変化はあったか。先ほどもありましたとおり、新規に参入するところも認めると記載をしていないということでありましたが、これは問い合わせをするところだけにやるというのも不平等を感じます。それで、さらにまた1回目のときにホームページに載っているということで情報をもらいまして、私の地元の与那嶺ですので、与那嶺の公民館に住民を集めて、村当局、課長なり、係なりに説明をしていただきました。その際、そういう入札に係るところ、宿泊業を行っているところに入札させますということで、字の説明の際には、新規参入も認めるということは一切なかったんです。そこら辺、1回目と2回目にそういう方向転換があったのかどうか、ちょっと疑問に思っております。先ほど議員からもあったとおり、ホームページ上の記載にしても文言をつけ加えればいいと思うんです。新規参入も認めますとうたっていれば、どちらでもできるんだなと。これからホテル業をやろうということができるんだと思いますが、あの文言だと、やはり宿泊業、ホテル業を現在行っているところが入札するのだと、普通だと認識してしまうと思うのですが、それについてお伺いいたします。

あともう1点、先ほど、副村長から答弁がありましたとおり、土地処分に関して、いろいろな件で議会の承認を得るというのは、実情にそぐわないということはわかりますが、旧梯梧荘跡地の役割として、以

前に買った際も、村が観光業のホテル業をやりたいという思いがあって、県から破格な値段といたしますが、1億円余りという、村の発展のためにということで県もやったと思います。それで今2億8,888万8,000円となって、2倍以上で売れているからいいじゃないかということもあるかもしれないのですが、やはりそこは、普通の土地とは違いますから、プロポーザル方式でやっていたにもかかわらず、急に方向転換をしてホームページ上の公募というのは違和感を感じますが、それについてお伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 1番島袋 誠議員の質疑について説明いたします。

梯梧荘の入札でございますが、今年度の6月11日から18日まで入札案内をかけまして、応募がございませんでした。その中で多数の問い合わせがありましたので、公有財産専門委員会におきまして、延長を話し合いまして、その後、8月20日から9月28日の間で2回目の案内、募集期間を延長した形で期間を受け付けいたしました。その前に地元での説明でございますが、地元ではホテル事業を営むことを条件に付けていますということで説明をして…すみません、議事録があるわけではないので、覚えている中ですが、ホテル事業を営むことを条件にしていますということで説明を申し上げたかと思います。その中で、新規参入であるとか、ホテル事業の実績があるとか云々というのは、この議論の中ではなかったと覚えております。その中で、1回目も2回目の延長につきましても、村の広報紙と村のホームページ、それから先ほど説明しましたが、2回とも観光協会のホームページにも依頼をかけてリンクを張っていただいたということで、可能な限り周知を図ったというところでございます。また、村長のトップセールスということではないのですが、いろいろな会議の中で梯梧荘跡地の入札の募集をかけていますということと、そういう周知も図っていただいて、今回の2回目の入札において、5者が申し込みをしたという経緯でございます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後0時00分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後0時01分)

田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 説明漏れがございました。

プロポーザルから入札方式に変えた理由ということでございますが、梯梧荘が閉鎖されてから、共済組合沖縄支部のほうから村への問いかけもありまして、村としては観光施設や雇用の場の確保であったり、地域産業の振興であったりという観点から、共済組合と協議をしまして、平成22年に梯梧荘跡地を購入しております。購入した後に、プロポーザル方式でそのまま梯梧荘の活用を図るという目的と、ホテル事業を行っていただくということで、プロポーザル方式で2回やって、事業者の選定をして協議をしてきたわけですが、それでも事業実施までに至らなかったという状況もございますので、ホテル事業のスムーズな移行といたしますが、実効性があると考えて、入札方式を取り入れて、今回の入札の運びとなったわけでございます。

○ 座間味 薫 議長 1番島袋 誠議員。

○ 1番 島袋 誠 議員 入札の経緯と、プロポーザルから一般入札にする経緯は今のわかりました。

先ほどありましたとおり、字側が「新規は可能なんですね」と聞かなかったから知らなかったというふうに、今の説明では受けとめられます。やはり村側としては、入札をいっぱいしてほしいわけですね。

門戸を広げているわけですから。であれば、ホームページ上の記載に文言を加えるべきだったのではないかと考えております。あと、2回目は村長のトップセールス的なものでいろいろ呼びかけて5件にふえたということでありましたので、それでふえるわけですから、もっと周知する方法を考えればよかったのではないかと考えられますが、呼びかけで5者ふえましたということでもありますので、まだまだ知らなかったところが実際にあるのではないかと考えております。ホームページだけ見ても、新規に参入できるとは書かれていないわけですし、一度白紙に戻して、もう一度入札して、全部同じ平等な条件で入札してもらうほうがいいのではないかと考えております。やはり今帰仁村にとっても大事な土地であると思いますので、これは課の方針で変わったのですか。課の係の方針、あと村の方針で変えて、こういう入札になったのかどうか。課の独断でやるとは思えませんが、その辺をもう少し練って、早く売りたい気持ちもわからないでもないのですが、早く動かしたいという、村民、区民の思いでもあります、大事な土地だからこそ、やはりこれには慎重になってほしかったと思うのですが、その件について再度お伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 中原茂仁副村長。

○ 中原茂仁 副村長 1番島袋 誠議員の質疑に対してご説明いたします。

もっと広報をすればもっと来たはずだから、今回はやり直すべきではないかというのは、ちょっと乱暴な議論ではないかなと。ずっとホームページには出していて、誰もが知り得る状況にあったこと、それから周知が足りなかったと言われれば足りなかったかもしれませんが、それに6者の業者が応えてくれて、実際に5者が入札してくれたという中で、もっとほかにもいたはずだからということで、その5者の入札を全部無効にするわけにはいかないと、村としては考えております。また、これを入札に変えることにつきましては、専門部会をつくりましてきちんと議論した上で、途中の経過ももちろん村長にご報告をしながら、最終的には決裁を回して、こういった形で入札をかけてよろしいですかということを進めながらやっておりますので、一つの課の判断というわけではなくて、村全体としての判断で行っているところであります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 1番島袋 誠議員。

○ 1番 島袋 誠 議員 今のところ変更する予定はないということで認識しました。

旧梯梧荘跡地の土地売却について、ホームページ上と、こちらから提案して村の広報には記載したと認識しておりますが、6月にも質疑をしたのですが、ホームページの閲覧数は1日当たりどれぐらいになっていますか。それも把握していないと、どれほどの方が見たかわからないということになると思います。この期間のホームページの閲覧数、1日当たりでも、集計でもいいので、どれほどの方に知ってもらったか。ホームページに載せればいいと答弁があったのですが、ホームページというのは見に行かないとわからないですよ。新聞に載ったほうがすぐわかるんですよ。この前、1月20日にあったみたいに。そのほうが知ってもらうのは早いと思うのですが、入札数をふやして多くしたいと思うので、ホームページの閲覧数がどれぐらいあって、どれぐらいの方が見たかを想定されているかどうか、説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後0時09分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後0時09分)

田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質疑について説明いたします。

まず、入札案内の周知でございますが、1回目も延長後の2回目も告示であるとか、村のホームページ、それと2回とも、最初から村の広報紙に掲載している状況でございます。先ほども説明しましたが、観光協会のホームページでもリンクを張っていただくということで協力をお願いして、そのように周知が図られたところであります。それから今帰仁村のホームページの閲覧の回数でございますが、ホームページ全般的な話でありますけれども、カウンターがついてございませんので、閲覧件数を確認することは現在できない状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 ただいまの1番島袋 誠議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。1番島袋 誠議員。

○ 1番 島袋 誠 議員 カウンターがついていないから閲覧数はわからないということなのですが、これは本気になって調べればわかるはずなのです。カウンターがついている、ついていないは別の問題として、カウンターがついていれば1日当たり幾らだとすぐ明確にわかって、累計とかもわかるホームページもありますが、カウンターがついていなくても、この期間に見たかというのはわかるものだと思いますし、また、わからなければいけないことだと思うのですが、でないとどれぐらい周知できたかが…。ホームページは先ほども言ったとおり、行かないとわからないわけです。今帰仁村のホームページ、さらに土地処分の項目に行かないとわからないものを、それだけで告知、周知を図ったというのが、幅広く新規参入も認めて広げたということに関してはちょっと疑問が生じます。なぜもっと幅広く新規参入も多く受け入れますとできなかったのか。そのままでいいと思って現在に至っているわけですが、もうちょっと方法がなかったのかなと感じておりますが、それについて伺います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質疑について説明いたします。

まず、行政的な手続の中で周知を図る方法として、一番最初に行われるのが村の告示でございます。その告示が大前提となっております。その中で周知を図る意味でも、サービスのものになるかもしれませんが、村の広報紙であったりホームページ、また、今帰仁村のホームページよりも閲覧数が多いだろうということで、村の観光協会のホームページでも協力していただいているという状況でございます。あと、そういった有料になる部分については、検討までは至っていない状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。 (休憩時刻 午後0時14分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後1時35分)

ほかに質疑ありませんか。9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 議案第4号について質疑いたします。

ちょっと確認程度です。多分協定書の第4条に当たるかと思うのですが、このホテルが営業を開始した後に、近くには畜産業を営んでいる畜舎があるのですが、そのにおいが、風向きによってホテルのほうへ行った場合に、当時業者からその異臭に対してクレームといいますか、そういったものがあつた場合、その対策、対応というのはどのように考えているか、答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後1時36分)

- 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 1 時 37 分)  
田港朝津企画財政課長。
- 田港朝津 企画財政課長 9 番山城 太議員の質疑について説明いたします。  
ホテルが事業実施されたときに、畜産業との兼ね合いの件との質疑ですが、まず、村との協定もそうですが、また、事業者においては地元、地域との協定が必要になってきますので、その中で十分に協議をしていただくことになります。
- 座間味 薫 議長 9 番山城 太議員。
- 9 番 山城 太 議員 その協議の場に、畜産業を営む方がいなかった場合にはどのような判断をなされるのでしょうか。その辺のお考え、答弁を求めます。
- 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 1 時 38 分)
- 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 1 時 38 分)  
田港朝津企画財政課長。
- 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質疑について説明いたします。  
協議の場に、当事者である畜産業者がなかった場合ということでございますが、当然、地域との協定の中でそういった懸念されるところがあるのであれば、もちろん当事者が出席して協議を進められるところまで、1 回限りで終わるということではなくて、その当事者も必ず参加した上で協議を進めるのが通例でもありますし、そのようにされるのが当然のことだと考えております。
- 座間味 薫 議長 9 番山城 太議員。
- 9 番 山城 太 議員 今、課長がおっしゃるとおり、当たり前だと思うのですが、最悪の場合、ホテル事業がうまくいって進んで、そして畜産業のにおいの問題が出てきて、畜産業者に移転してくれないかというトラブル等があった場合には、村としてはどのように対応されるのか。その辺の認識、どのように思っているのか、答弁を求めます。
- 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。
- 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質疑について説明いたします。  
もちろん、畜産業を営む個人や法人につきましては、法令に基づいてし尿処理といいますか、排出の基準を満たすのは、法令的にも基準がありますので、その中で守っていただく、遵守していただくということと、またそういったものは役場主導でもって指導されるわけですが、ホテル事業者と地域の産業といいますか、畜産の関係でしたらその旨調整をして行った上で、協定の締結になるかと考えています。
- 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 1 時 41 分)
- 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 1 時 42 分)  
田港朝津企画財政課長。
- 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質疑について説明いたします。  
畜産業の懸念される事項については、やはり当事者である方々やホテル事業を行う方々との直接の調整を行った上で、字といいますか、地域の協定もございますので、その中に盛り込んで、当事者が必ず確認の上で実施されるのが当然だと思います。

○ 座間味 薫 議長 ただいまの 9 番山城 太議員の質疑は既に 3 回に達しましたが、会議規則第 55 条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。9 番山城 太議員。

○ 9 番 山城 太 議員 今回の答弁では、当事者同士が直接話をするのが筋だとおっしゃっているのですが、村行政としては何のタッチもしないのですか。村有地を売ってからホテルを建てるわけですよね。そういう状況もあり得るわけです。それなのに、当事者同士に任せるというのも何か腑に落ちない。納得がいかないところなのですが、その間を調整するのが行政だと思うのですが、再度その辺の答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 中原茂仁副村長。

○ 中原茂仁 副村長 9 番山城 太議員の質疑に対してご説明いたします。

午前中の質疑でもありましたけれども、協定書は地元と業者との間の協定書でありますけれども、その中で村役場当局としても、きちんと両者の協定、話し合いがうまくいくように必要に応じて助言したり、間に入って仲介したりということは、しっかりとやっていきたいと思っております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 1 時 44 分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 1 時 44 分)

ほかに質疑ありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「質疑なし」と認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「討論なし」と認めます。

これから「議案第 4 号 土地の処分について」を採決いたします。

この採決は起立により行いますが、起立しない議員の取り扱いについてお諮りします。

起立しない議員は本件に対して反対とみなすことにしたいと思います。ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「異議なし」と認めます。異議がないので、そのように決定します。

それでは「議案第 4 号 土地の処分について」を採決します。本件について、原案のとおり決定することに賛成の方は、起立願います。

(賛成者起立)

○ 座間味 薫 議長 ご着席ください。以上のとおり、「賛成・反対が同数」です。

したがって、地方自治法第 116 条第 1 項の規定によって、議長が本案に対して裁決します。

「議案第 4 号 土地の処分について」は、議長は「可決」と裁決します。

したがって、「議案第 4 号 土地の処分について」は、可決されました。

日程第 4. 「議案第 5 号 平成 30 年度今帰仁村一般会計第 10 回補正予算について」を議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。中原茂仁副村長。

○ 中原茂仁 副村長

議案第5号

平成30年度今帰仁村一般会計第10回補正予算について

上記議案について、次のとおり提案し議会の議決を求めます。

平成30年度今帰仁村一般会計補正予算（第10回）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

- 第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ293,891千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7,364,164千円とする。
- 2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

平成31年1月28日提出

今帰仁村長 喜屋武 治 樹

第1表 歳入歳出予算補正

（歳入）

（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
17 財産収入		133,925	288,888	422,813
	2 財産売却収入	119,787	288,888	408,675
19 繰入金		365,541	5,003	370,544
	1 繰入金	365,541	5,003	370,544
歳入合計		7,070,273	293,891	7,364,164

（歳出）

（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
2 総務費		1,106,090	288,888	1,394,978
	1 総務管理費	961,626	288,888	1,250,514
8 土木費		522,993	5,003	527,996
	2 道路橋梁費	447,542	5,003	452,545
	4 港湾費	21,173	0	21,173
歳出合計		7,070,273	293,891	7,364,164

詳細は担当課長より説明いたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ **田港朝津 企画財政課長** 私のほうから歳入歳出の補正の節において、300万円以上の項目について説明申し上げます。

6ページをお願いします。17款財産収入、2項財産売却収入、1目不動産売却収入、補正額2億8,888万8,000円につきましては、1節土地売却収入によるものでございます。

続いて7ページ、19款繰入金、1項繰入金、1目繰入金、補正額500万3,000円につきましては、1節繰入金の財産購入基金からの繰り入れでございします。

8ページをお願いします。歳出になります。2款総務費、1項総務管理費、4目財産管理費、補正額2億8,888万8,000円は、財産購入基金への2億8,888万8,000円の拠出でございします。

次に9ページをお願いします。補正額で500万3,000円、節では300万円ではありませんが、17節公有財産購入費で242万3,000円、22節補償、補填及び賠償金の258万円は、物件補償費の計上によるものでございします。以上、300万円以上の補正の説明といたします。

○ **座間味 薫 議長** これから質疑を行います。歳入歳出一括で行います。質疑はありますか。10番 與儀常次議員。

○ **10番 與儀常次 議員** 8ページです。議案第5号の質疑をいたします。

歳出、2款総務費、1項総務管理費、4目財産管理費、25節積立金、財産購入基金の説明と、次のページ、8款土木費、2項道路橋梁費、2目道路維持費、17節の道路敷用地購入、22節の物件補償費とありますけれども、これの説明を求めます。

○ **座間味 薫 議長** 田港朝津企画財政課長。

○ **田港朝津 企画財政課長** 10番 與儀常次議員の質疑について説明いたします。

8ページ、2款総務費、1項総務管理費、4目財産管理費、25節積立金の2億8,888万8,000円につきましては、歳入のほうでも計上しておりますが、歳入を受けて、積立金への拠出として財産購入基金への積立金として歳出する項目となっております。

○ **座間味 薫 議長** 嶺井雄二建設課長。

○ **嶺井雄二 建設課長** 10番 與儀議員の質疑に対してご説明いたします。

8款2項2目道路維持費、17節公有財産購入費につきましては、道路の買い上げになります。面積にして122.3㎡です。22節の補償費については、立ち木と残地補償の補償になります。以上です。

○ **座間味 薫 議長** 10番 與儀常次議員。

○ **10番 與儀常次 議員** 8ページです。財産購入基金、積み立てが2億8,888万8,000円と。この積み立てをして総額幾らになりますか。こういった方法でこの積立金を使っていくのか、お伺いします。

それと、今、建設課長からありましたが、どこの補償なのか。場所と補填、補償の原因の説明を求めます。

○ **座間味 薫 議長** 田港朝津企画財政課長。

○ **田港朝津 企画財政課長** ただいまの質疑について説明いたします。

本10回補正につきましては、補正後の金額の財産購入基金の積み立て総額は4億5,047万6,696円となります。



○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質疑についてご説明いたします。

線としては吉事土改18号線ということですが、場所につきましては、新城組の後ろの路線になります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 基金が4億5,000万円余りあるということですがけれども、前に庁舎建設委員会で調査をしたところ、西原町は財産を処分して、基金として積み立てをして、これを新庁舎に使ったということがありましたけれども、今帰仁村も処分したお金を基金に入れていますけれども、どう使うのか。みんな庁舎建設基金に使うのか、お伺いします。

それと、道路の物件はいつごろ開始するのか。前の説明では3月いっぱいとか、2月いっぱいとかあったのですが、道路を購入した後、どう整備しながら使っていくのか。向こう側と買うところはちょっと幅が違うんですね。買ったら、同じ幅で道路整備をするのかどうか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質疑について説明いたします。

村有財産購入基金の使途でございますが、その財産基金につきましては、村有財産を売却した金額を積み立てなければならないという規定がございます。また、運用につきましては、公有財産を買い受けるときにも、その基金が充てられていきますので、その整備基金として積み立てられます。また、さきの議会で可決していただきました4月1日からの公有財産施設の管理条例の中で、またほかの基金と合わせて、財産の管理であったり、施設の整備費であったりというものの中で活用されていく形になります。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質疑についてご説明いたします。

整備するのではなくて、そこは現在整備が完了しております。登記ができていなくて、通行できない状況になっておりますので、この土地を買って地権者に通行どめを解いてもらうということです。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ただいまの10番與儀常次議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 基金の4億5,000万円余りから、庁舎建設には幾らぐらい、将来やっていく予定があるのか。現状にあるのでしたら金額でも、お願いします。

建設課長、購入したら、原状のままで回復ということで理解していいですか。整備ではなくて、通行どめになっているのをあけて通るだけという認識でいいのですね。わかりました。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質疑について説明いたします。

庁舎建設基金としてどのぐらい活用されるのかということでございますが、庁舎建設につきましては、これからの設計費であったり、用地購入になっていきますので、まだ細かな設計ができていない段階ですので、基金から幾ら使えるかというのは、まだ未確定の部分でございます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午後2時00分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午後 2 時03分)

ほかに質疑ありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「質疑なし」と認めます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「討論なし」と認めます。

これから「議案第 5 号 平成30年度今帰仁村一般会計第10回補正予算について」を採決いたします。  
お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「異議なし」と認めます。

したがって「議案第 5 号 平成30年度今帰仁村一般会計第10回補正予算について」は、原案のとおり可決されました。

次に、議決事件の条項、字句及び数字等の整理についてお諮りします。

本臨時会において議案等が議決されましたが、その条項、字句、数字その他の整理を要するものにつきましては、会議規則第45条の規定に基づき、その整理を議長に委任することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「異議なし」と認めます。

したがって、条項、字句、数字、その他の整理は議長に委任することに決定しました。

これで本日の日程は、全部終了しました。

会議を閉じます。

平成31年第 2 回今帰仁村議会臨時会を閉会します。

(閉会時刻 午後 2 時03分)

上記、地方自治法第123条第 2 項の規定により次に署名する。

今 帰 仁 村 議 会

議 長 座間味 薫

署名議員 與 儀 常 次

署名議員 嘉 陽 崇